

学校だより 3月号



「よく頑張ったね！」を伝えたい

校長 柴田 雅之

早いもので今年度も残りわずかとなりました。年が明けてから毎日があつという間に過ぎていきます。そんな中、この一ヶ月を振り返ってみます。

校長室で6年生と給食を食べました。普段じっくり話す機会がないので、とても楽しい時間でした。この6年間を漢字一文字で表すと何になるか聞いたところ、「友」「楽」「幸」「成」「初」「人」「食」などが出てきました。初めの3つはご想像の通りです。他は「いっぱい成長した。初めてのことがいっぱいあった。人とかかわりの中で学んだ。給食がおいしかった。」などの理由が語られました。修学旅行や自然教室が強く心に残った思い出だそうです。将来の夢は、「スポーツ選手、歌手、会社員、起業家、料理人、社長、警察官、先生、犬を飼っていたい、普通に生活できればそれでよい、特にない」など、今の段階でのそれぞれの思いを教えてくださいました。どんな大人になるのか楽しみです。1年生の時のことが話題になりました。この子たちは入学のときにコロナによる臨時休業がありました。どうだったか聞いてみると、ほとんどの子があまり覚えていないということでした。親と一緒に何か取りに来たくらいの記憶だそうです。心の奥には何らかの影響はあるかもしれませんが、子どもたちは、その後の生活の充実によって、どんどん良い思い出で記憶が上書きされていったのでしょうか。ホッとしました。どんなに難しいことや厳しいことも、耐えること、諦めないこと、知恵を絞ること、行動することで乗り越えていけることを改めて考えさせられました。

また、5年生が総合の学習の発表をしていました。SDGsについて、とてもよく調べ、工夫を凝らした伝え合いをしていました。17のゴールと169のターゲットがありますが、どれも非常に大切なテーマです。世界中の声を集めて話し合い、みんなで決めた世界共通の約束です。身近に感じることも、遠くのここのように感じることも、地球の未来、そこに住む私たちの未来のために考える必要があることです。どんなに大きな課題でも、子どもたちの成長を見ていると、これまでもそうであったように、きっとこれからも乗り越えていけるように感じます。

1年生が、保育園・幼稚園の子どもたちとの交流会をしました。緊張気味の園児たちにとっても優しく接していました。立派なお兄さん、お姉さんぶりが微笑ましかったです。来年度の新入生は安心したことでしょう。1年生が頼もしく見えました。

スクールコーラス、スクールバンドの定期演奏会がありました。発表する子どもたちは輝いていました。好きなことに楽しく取り組む姿はキラキラして素敵でした。6年生が最後にあいさつをしましたが、仲間との楽しく過ごした貴重な時間のことや、保護者や先生たちに支えられてきたことへの感謝などを涙ながらに述べる姿に、思わずもらい泣きしてしまいました。

金程中学校区地域教育会議に参加しました。金程中学校・金程小学校・千代ヶ丘小学校の3校の学区において、地域として子どもたちを支える活動を行ってくれています。霜倉議長をはじめ、地域の方、学校関係者、元PTAの繋がりで活動されている方もいます。学校には、学校運営協議会（コミュニティスクール）という組織もありますが、どちらも地域として、学校を支えてくださっています。とても心強い応援団だと思っています。この紙面にて改めてお礼を申し上げます。

年度末、一年を振り返ると、いろいろな方への感謝の気持ちでいっぱいになります。特に保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。子どもの笑顔を、そして成長を願う共通の目標に向かう同士だと思っています。立場は違えど、人の成長にかかわる中で、多少の苦労はあっても、それもやりがいと感じながら共に子どもたちを支えていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。そして最後に、立派に成長してきた子どもたちに感謝したいです。「よく頑張ったね！」を卒業式や修了式で伝えようと思います。お家でもその成長をぜひ褒めてあげてください。

※あつ、そうなの！「麻生区長寿日本一」（麻生区地域まもり支援センターより）

いよいよ進級・進学ですね。この1年間で、心も体も成長できましたか？ 自分では気づかなくてもきっとどこかに「成長」は隠れています。新しい生活では、わくわくすることもあれば、不安なこともあるかもしれません。そんなときこそ、「健康な体と心」、それから、きっとどこかにいる「仲間」が、みなさんを支えてくれます。1年間頑張った皆さん、おめでとうございます。